

 一般社団法人
コレカラ・サポート
活動紹介資料



コレサポについて

コレサポの活動は、名前の通り「コレカラを支える」ことに一貫しています。
この超高齢社会において、高齢になっていく親やその世代を支えていくことも重要ですが、もっと長い目で見たときに、支えている子の世代も不安や悩みをもっています。

- ・長生きすることが素敵なことでなくなり、若い人に頼ることもできない。
- ・現役の今も大変な社会なのに、子供の数も減り自分たちの老後に光が見えない。

多くの人が不安や悩みを抱える日本社会において、誰もが「支えられる人は支えていく」、「支えられる時期が来たら支えてもらう」、そんな相互扶助の社会にしたい。私たちコレサポは、一人ずつ、少しずつ、継続していきます。

高齢期の様々な課題と向き合い対処することを、coping（コーピング）と呼んでいます。
コレサポは、支えられる高齢の方と支えている家族のサポートを行います。
そして、これからさらに必要となるcopingを皆で支えるために、協力会員「copingパートナー」を育成し、一緒に活動していきます。

2018年7月吉日

一般社団法人コレカラ・サポート
〒270-0034
松戸市新松戸4-32-1-B602
TEL：050-3633-8343
mail：info@koresapo.com
URL：www.koresapo.com

コレカラ・サポートのビジョン

人と人が支え合う社会の実現

コレカラ・サポートのミッション

頼れる‘誰か’を育てること



事業内容

copingセミナーなどの開催による 周知活動

- ・役所など公的機関
- ・企業やNPOなど
- ・ご友人同士などの小規模な談話

coping講座による copingパートナーの育成

「copingパートナー」
講座受講後認定

実際のcoping（ご相談）

- ・相続手続きなどの
必要に応じた対応
- ・少しずつ老いがすすみ、
困難になってきたことの対応
- ・定期的な見守りで
長いお付き合い

実際の相談・対処

- ・ホームFP（見守り）
- ・コレカラ安信（家族信託）、相続手続き代行
- ・遺言（公正証書遺言・自筆証書遺言）
- ・住まいの相談（ご自宅・世代同居・施設入居）
- ・身元保証、委任
- ・各専門家との連携、調整

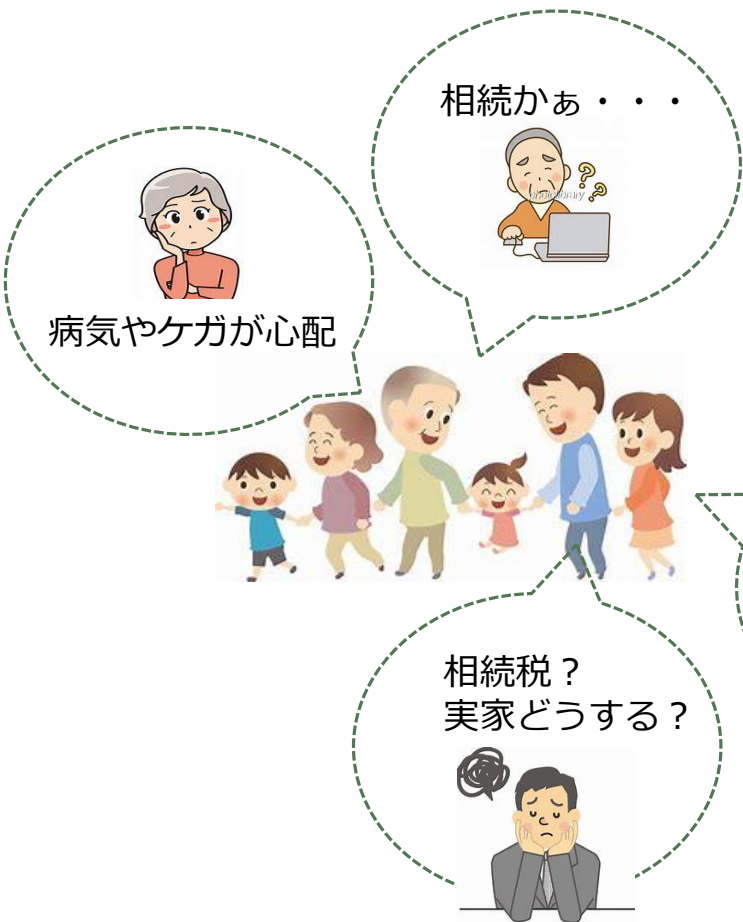
【coping講座】 受講料3万円（税抜）・全12時間
copingの範囲、できること、五感の使い方、
コーディネイト・コネクトの考え方
実際のcopingの内容や、社会的な出来事などをふまえ、
イメージをつける

【受講後のアフタープログラム】

copingの内容のテーマ別勉強会の参加
copingパートナー同士の情報交換および交流会参加
copingセミナーの講師資格認定
個別指導（ケーススタディ・案件同行・バーミニング）

iS coping (コーピング)

「高齢者が」様々な心配・不安を持つと同じように、その子世代には口には出せない「親の」相続や介護についての不安をもっています。
coping (コーピング) とは、そんな高齢期における様々な課題と向き合い対処することをいいます。



相続税対策	介護
争族対策	高齢者医療
高齢期の住まい	祭祀

1. 高齢期になると考えることNo.1 『相続』
・・・相続の基本
2. 高齢期になると不安なことNo.1 『介護』
・・・介護の実態
3. 高齢期になると悩むことNo.1 『住まい』
・・・老後の住まい方

相談支援のワンストップサービス



企業

- ・不動産
- ・介護事業所
- ・警備会社

専門家

- ・FP
- ・税理士
- ・司法書士
- ・カウンセラー
- ・医療従事者

NPO・
団体

- ・介護者支援
- ・遺族支援

取材事例

NHK 首都圏ネットワーク（平成25年5月24日放送分）



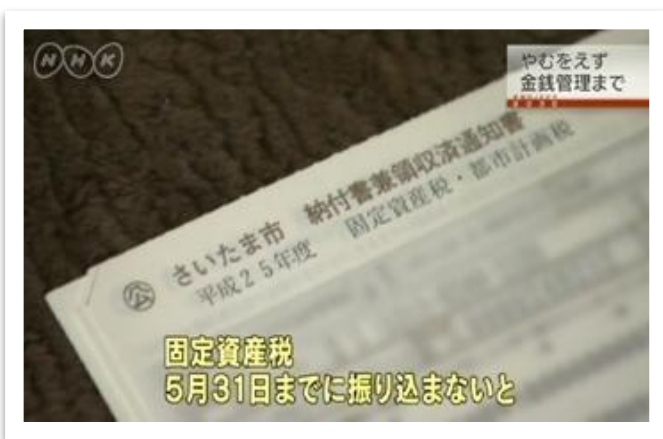
- ◆高齡化が進むことで、2030年には判断力の衰えなどから自分で財産を管理できない高齡者が増える
と予想されています。特に心配されるのが、頼れる
身内がない高齡者の財産の管理や、相続などを巡
るトラブルです。こうしたなかで、高齡者の財産を
巡るさまざまな問題を一つの窓口で対応しようとい
う新たな動きが出始めています。



- ◆さいたま市で介護事業所を經營するケアマネー
ジャーの上田浩美さん。訪れたのは一人暮らしの60代
の男性の家です。食事はとっているか、体温や血圧
は正常かなど、体調に合わせて介護の計画を立てる
のが、ケアマネージャーの本来の仕事です。ところが
上田さんは本来の範囲を超えたことまで担ってい
ます。

取材事例

NHK 首都圏ネットワーク（平成25年5月24日放送分）



◆男性はがんを発症して体力が衰え、自由に出歩くことができません。10年間にわたって男性を担当してきた上田さんは、離れて住む親族に頼まれ、やむを得ず、固定資産税の支払いなど本人の代わりに身の回りの支払いを行っています。上田さんは、男性から現金を受け取ると「これ預かって31日までの分は払いますね」と言い、男性は「助かります。何もできないから」と話します。



◆さらに上田さんは、施設に入所している男性の母親の金銭管理も頼まれています。男性の母親は80代。去年12月に施設に入所したのを機に、上田さんは介護の担当を外れましたが、上田さんは今も銀行のカードを預かり、10万円を超える入所費用の支払もしています。

取材事例

NHK 首都圏ネットワーク（平成25年5月24日放送分）



◆高齡化が進むなか、上田さんは、ケアマネージャーが金銭管理まで担っているケースは少なくないと言います。「これは本来の仕事ではないなと思いつつもやらざるを得ない感じがして、やらないと解決しないからやっています。やらないと解決しないからやっています。どうなのかといつもそのギリギリのせめぎ合いがあって」と上田さん。



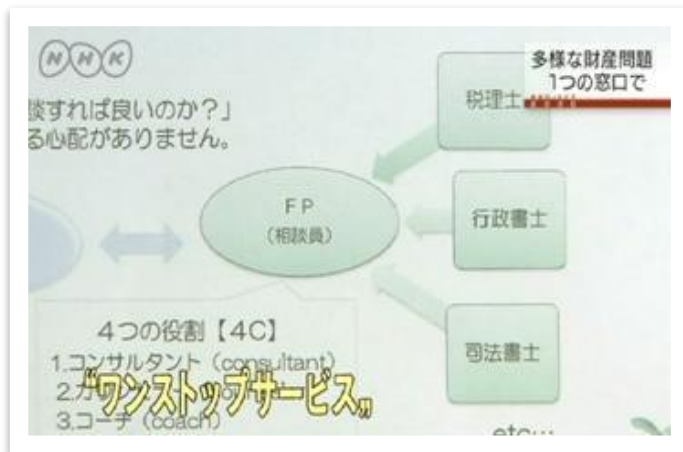
◆さらに上田さんを悩ます事態が起きました。男性から、遺産相続を巡る問題を解決してほしいと頼まれたのです。金銭管理から相続まで多岐にわたる問題の対応を頼まれ、上田さんはどこに相談すればいいのか頭を悩ませています。「ここまですべてになると、これはもう仕事の範ちゅうをかなり超えているものだと思いますね。遺産相続などは専門家の知識がないとやりくりならないことなので、これはもうできないことだと思いますね」と上田さんも頭を抱えます。

取材事例

NHK 首都圏ネットワーク（平成25年5月24日放送分）



◆今後、高齢者の世帯が急速に増えると予想されているなか、財産を巡るさまざまな問題を一つの窓口で解決しようという新たな取り組みが始まっています。ファイナンシャルプランナーの千葉晃一さんです。千葉さんは、もともと個人で事務所を構え、資産運用などの相談に当たっていましたが高齢者の財産を巡るトラブルの多さに直面したのをきっかけに去年、新たな法人「コレカラ・サポート」を設立しました。



◆財産を巡る問題と一口に言っても、金銭の管理から相続、税金の支払いなど多岐にわたり、対応する専門家もそれぞれ異なります。この法人では、一つの窓口で相談するだけでそれぞれの分野の専門家が集まって一度に解決に当たる、いわゆる「ワンストップサービス」を目指しているのです。

取材事例

NHK 首都圏ネットワーク（平成25年5月24日放送分）



◆この1年間に寄せられた相談は350件。こうした取り組みへのニーズは高いと千葉さんは感じています。「問題とかがあったときに、大丈夫ですよ、何とかありますよ、知っている人を紹介します、できる人が周りにいますと言うと安心してもらえる。問題が起きないように未然に防ぐにはどうしたらいいかという所に、できるだけ入っていききたいなという風に思っています」。



◆ケアマネージャーの上田さんは親子の金銭管理から遺産相続までさまざまな問題を抱え、千葉さんに助けを求めました。千葉さんは、関係する専門家を紹介するとともに、親子からの依頼があれば、上田さんが担っている金銭管理も支援したいと考えています。「ありがたいですね。そういった方たちが増えてこない、よろず相談口がないと、やっぱり世の中困っていくでしょうから」と上田さん。

法人案内

法人名	一般社団法人コレカラ・サポート
住所	【事務局】 〒270-0034 松戸市新松戸4-32-1-B602
設立	2011年4月1日
役員	代表理事 千葉晃一 理事 影山貴大 理事 甲賀規子 監事 稲生豊
会員	正会員4名、協力会員6名、賛助会員5名（平成30年6月現在）
Web	www.koresapo.com
電話	050-3633-8343
Mail	info@koresapo.com